April 2009
NO. 30

徳島県博物館協議会ニュース

＜目 次＞

「研修会報告」 ……1
「今，わが館では･･･」 ……2
○徳島県立近代美術館
○藍住町歴史館「藍の館」 ……3
○徳島市立徳島城博物館
「加盟館の紹介」 ……4
○佐那河内いきものふれあいの里
○徳島県立阿波十郎兵衛屋敷
○阿波和紙伝統産業会館
「情報コーナー」 ……5
○上板町立歴史民俗資料館
○ＪパワーよんでんＷａンダーランド
○鳴門市ドイツ館
○大塚国際美術館
○ラピス大歩危　石の博物館 ……6

研修会報告

旧家のひな人形

手袋づくりに使われていた型

今年度の研修会は，２月２７日（金），香川県東かがわ市引田の東かがわ市歴史民俗資料館を中心に参加者11名で行われました。

研修会では，「東かがわ市歴史民俗資料館と観光施設との連携」と題して萩野憲司学芸員の講演がありました。香川県における平成20年というのは，瀬戸大橋開通20周年，オリーブ植栽100周年，ハマチ養殖80周年，手袋製造120周年という記念の年であったようです。このうちハマチ養殖と手袋製造は東かがわ市に関わるもので，次のような東かがわ市歴史民俗資料館との連携事業実施の概要を紹介していただきました。

○平成20年度東かがわ市歴史民俗資料館連携事業
- 「バーチャル・グローブ・ミュージアム」
- 小学校向け夏休み企画
  ハマチ養殖成功８０周年記念「ハマチをまるごと学ぼう！」
- 出前展示「けっこ～おもっしょいまちでよ、東かがわ。」
- 「伝統芸能・白鳥だんじり子供歌舞伎の継承に関する基礎的調査」

以上の事業の中で，①展示・調査協力②観光施設を利用した体験学習③出前展示の開催といった活動の実際をおうかがいすることができました。

国の登録有形文化財　老舗醤油屋のベンガラ色の建物

講演の後，街に出て，引田ひなまつりの様子を見てまわりました。なつかしい昭和30年代の生活用具を並べてある店，ハマチ養殖発祥の地らしいメニューの店，手袋生産が全国の９０％を占める街らしい手袋ギャラリー，旧家の古い貴重なひな人形，街めぐりの拠点となっている江戸時代からの商家「讃州井筒屋敷」など，参加者も興味をそそられるおもしろい見学となりました。また，行く先々で萩野学芸員に声をかける人たちに出会い，講演どおりの「地域とのつながり」を強く感じることができました。

（事務局）

「今，わが館では…」

徳島県立近代美術館

徳島県立近代美術館では、ゴールデンウィークを含む期間に、「宮城県美術館・三浦コレクションによる　ヨーロッパ・ポスター芸術の開花：アール・ヌーヴォーから20世紀初頭まで」（4月25日-6月21日まで）を開催しています。

アルフォンス・ミュシャ〈ロレンザッチオ〉
1896年　宮城県美術館蔵

ジュール・シェレ〈カンキーナ・デュボネ〉
1895年　宮城県美術館蔵

19世紀末から20世紀初頭のヨーロッパでは、工業が発達し、競争社会が激しくなる中で、「宣伝」の有効な手段としてのポスターが隆盛期を迎えます。そして、世紀末、とりわけアール・ヌーヴォーをはじめとする芸術運動の中で、ポスターは実用性にとどまらず、高い芸術性を持つ美術作品としても認められるようになりました。

優美な曲線と装飾的な空間を特徴とする華麗な様式を生み出したアルフォンス・ミュシャ（1860-1939年）は、アール・ヌーヴォーを代表する作家の一人です。当時人気絶頂の舞台女優サラ・ベルナールのためのポスターなどが有名です

ジュール・シェレ（1836-1932年）は、ミュシャらの活躍に先立って、石版画（リトグラフ）によるカラーのポスターを普及させた「近代ポスターの父」です。彼の描く陽気で美しい女性たちは、「シェレット」（シェレ娘）と呼ばれ、時代のトレンドをリードします。

また、この時代は、カフェやキャバレーなどが多く誕生し、娯楽や社交文化が盛えて、別名「ベル・エポック（美しき時代）」とも呼ばれます。パリのモンマルトル界隈を拠点に、機知とユーモアに富んだ都会的なセンスで人気を博したトゥールーズ＝ロートレック（1864-1901年）は、このベル・エポックを体現した代表的な作家の一人です。

これらのほかにも、本展では、パンやミネラル・ウォーター、自転車やアルコール類などの広告ポスター、万国博覧会や各種のイベント、観光ポスターなども展示しています。それらは、大衆の目を引いて消費を刺激するだけではなく、余暇や趣味も楽しむ近代的な生活スタイルを提案します。新しいものを次々に追求する近代において、宣伝ポスターは不可欠なものとなるのです。

我々の身近にあって、ファッションや流行をリードし、人々のあこがれや夢を誘うグラフィック・アートの世界。それらを通じて、この時期のヨーロッパの社会や文化、その時代のイメージをお楽しみ下さい。また、フランスのものが定番の世紀末ポスターですが、この宮城県美術館の「三浦コレクション」にはイタリアのものも多く、これも見どころの一つとなっています。

この特別展の準備をしながら、美術館がこのようにコンセプトが明確で特徴のあるコレクションを持つことの重要性を、改めて感じました。私たちもまた、周囲の状況が変化しても、美術館としてのしっかりしたコレクションの形成に向けて、今後もたゆまぬ努力を継続する必要性を再認識させられる機会となりました。

アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック〈ル・ディヴァン・ジャポネ〉1893 年　宮城県美術館蔵

「三浦コレクション」は三浦永年・ティニご夫妻（共に製本装幀家。永年氏はマーブルペーパー制作者としても知られる）が収集し、宮城県美術館に寄贈されたものです。（専門学芸員　友井伸一）

〒 770-8070 徳島市八万町向寺山
Tel : 088-668-1088

◇◇◇

加盟館の紹介

佐那河内いきものふれあいの里

◆みどころ

自然とのふれあいをテーマとした体験型イベントを年間７０回ほどしています。四季折々の動植物の生き様，あるいは野山の移ろいを肌で感じることができます。特に，大川原高原には１５基の発電用風車がまわっており，自然エネルギーの利用の現実を目の当たりに見ることができます。

◆新しい展示

未来に残したい風景「棚田」をテーマにしたスケッチ展を新年度より始めます。昨年８月から野鳥生態シリーズ，天羽敬郎氏秘蔵の２５０枚の写真から厳選した，まさに「わたしの一押し」をひきつづき公開しています。

◆講座

村内学童保育に指導員が赴き，「自然に親しむ」ことをねらいとして，春，夏，冬休みに小動物の自然体験をしています。

◆出前授業

村及び周辺の小・中学校を対象に，自然体験，環境学習などの要望に応じ出前授業をしています。また，夏休み等には来館による自然体験学習プログラムも用意しています。

◆ネイチャースクール

県自然環境協力員を対象に，野鳥，植物，小動物の各分野で，次のような講座を実施します。

鳥類標識調査（４月，５月，９月，１０月）
植物観察会（５月，７月県南のシダ植物，
９月イネ科植物）
動物観察会（６月毒虫，９月ハチ各被害防止，
１２月サルなどの防除対策）

〒771-4102 名東郡佐那河内村上字大川原 5-8
Tel : 088-679-2238

◇◇◇

情報コーナー

上板町立歴史民俗資料館

当館では，３月１日・３月８日にサイクリング教室（町民対象で延べ２５人が参加）を開催しました。

この教室は，総合型地域スポーツクラブ育成推進事業（上板スポーツクラブ [仮称] 主催。事務局は上板町教委）の一つとして行われ，館内で中西裕幸氏（日本体育協会公認の上級自転車コーチ，スポーツプログラマー）による自転車のペダリングの基礎や走行時のルール等の講義をし，その後，町内広域農道等で文化財を見学しながら，サイクリング実習が行われました。

スポーツを通して，町内の方々に郷土の文化への興味・関心を深めることができました。当館の生涯学習として行えるものあれば，多種多様な機関・団体と協力し，その機能を活性化できればと思っています。

〒 771-1310　板野郡上板町泉谷字原中筋 8-1
Tel : 088-694-5688
（上板町教育委員会　Tel : 088-694-6814）

◇◇◇

ラピス大歩危　石の博物館

当館があります大歩危峡谷は，国際的にも有名な地質学のメッカで，この地から日本列島の誕生について重要な知識が得られます。

館内に展示しておりますレキ質変岩も大歩危峡谷で見られる岩石の一つで，徳島県の天然記念物に指定されており，この「レキ」を調べることにより，その原材料が何であったか，また大歩危周辺の石がどれぐらい前にできたものなのかが分かります。

その他，国内外からさまざまな鉱物を取りそろえ，「人のくらしと石」「石の花」などの各コーナーで世界中の珍しい石を見て，触れて，知識を深めながら楽しんでいただけます。

手作りの妖怪人形たち

また，大歩危を含む山城町は日本一多くの妖怪伝説が残る町であり，昨年５月に世界妖怪協会より，鳥取に次ぐ第２号の怪遺産認定を受けました。『四国の秘境・山城大歩危妖怪村』として，山城町の妖怪を広く伝えていくため，地元の人々を中心に妖怪まつりの開催，妖怪マップの作成などさまざまな活動に取り組んでおります。当館も，これからの活動に積極的に参加し，当施設内特別展示室におきまして，地元の方手作りの妖怪人形の展示を行っております。山城町出身であるコナキジジイを中心とした恐ろしくも親しみやすい妖怪たちがお待ちしております。

三好市山城町上名 1553-1
TEL 0883-84-1489

お知らせ

徳島県立鳥居記念博物館

当館は平成２２年１１月に文化の森でリニューアルオープンする予定です。鳴門市内にある記念博物館での展示は，あと１年となりますので，お早くご観覧ください。なお，祝祭日は無料となっています。

〒 772-0016　鳴門市撫養町林崎字北殿町
（妙見山公園内）　Tel : 088-686-4054

ー事務局よりお知らせー

この「徳島県博物館協議会ニュース」は，徳島県立博物館のＨＰに掲載しています！写真画像等はカラーで，より鮮明に見ることができますのでご活用ください。

＜編集後記＞

今回は，毎年行っております研修会について簡単な報告をさせていただきました。これまでは，県内の加盟館に会場をお願いしておりましたが，県外の博物館等でもいいのではというご提案により，徳島県に近い東かがわ市歴史民俗資料館のご協力を得て実施の運びとなりました。参加者にはたいへん好評のうちに終えることができました。お世話いただきました東かがわ市歴史民俗資料館の萩野憲司氏には紙面をお借りしてお礼申し上げます。

次年度の研修会にもたくさんのご参加をいただくことを期待しております。　（事務局）

徳島県博物館協議会ニュース№ 30
平成 21 年 4 月 1 日　発行

編集・発行者
〒 770-8070
徳島市八万町向寺山
徳島県立博物館内
徳島県博物館協議会事務局
TEL.　088-668-3636
FAX.　088-668-7197